



## 安心で安全なオンリーワンのまちづくりを!

誠心会 ● 小林 義典 議員

**問** 旧東海道の無電柱化についての考えは。

**答** 平成28年12月に

「無電柱化の推進に関する法律」が、施行され、地方公共団体、地域住民などが協力して進めていく必要があります。現在、県下の市町が加入します滋賀県無電柱化地方部会において、議論しているところであり、地域レベルでの合意形成が必要とされ、地域のニーズを反映できるような体制の充実を図ることが課題です。今後関係者と調整を図っていきたいと考えています。また、旧東海道の無電柱化についても、道路幅員が狭小であるなど、地域の理解、経費面などからも困難な状況で調整、検討が必要です。

### 道路端の雑草除草

**問** 市内の景観美化について。

**答** 市道は年2回、県

道は年2回、国道は年1回のペースで除草しています。

**問** 旧石部町内の排水溝の点検について。

**答** 側溝施設など構造物に損傷があり十分に機能発揮できていない箇所については確認後、修繕の必要があれば対応します。想像以上の降雨時には、各家庭や地域で普段から確認や備えの必要性があると認識していただきたいと思います。



無電柱化にすると、とても素敵な街になります。

## まちづくりについて

無所属の会 市民の力 ● 望月 卓 議員

**問** イオンタウン界限の商業振興・産業振興の現状と今後の展望は。

**答** 平成28年11月には、

市民産業交流促進施設「ここびあ」がオープンし、広域交流拠点と位置付け、市民だけでなく市外からの買い物客も受け入れ、賑わいのあるまちづくりをめざし、今年度は、(仮称)みらい公園湖南魅力発信拠点施設建設工事を実施しています。

「ここびあ」の開設により、第1次産業、第2次産業、第3次産業の融合における産業振興や地産地消農業の促進および地場産業の発展、また特産品の開発などの事業を展開し、地域経済の活性化に繋がるようなまちづくりを進めています。

今後、当市においても少子高齢化が急速に進み、高齢者のみの世帯、交通弱者などが地

域社会で安心して暮らせるまちづくりの重要性が増していることから、地域における個人商店には大型店にない「顔の見える関係」、顧客のニーズを的確に把握し、きめ細かなサービスを展開していくことが求められています。

更にもその地域特性に対応した魅力あるものにするため、セーフティネット・小口簡易資金の低利貸付や地域商店街活性化事業助成金・商店街振興に関する補助金など、商工会とともに小規模商店や商店街振興に関する様々な制度を活用し、その競争力強化や活性化を図る支援策を考えています。



市民産業交流促進施設「ここびあ」